

船舶レーダとデジタルカメラを利用した運航管理システムの開発

重松 文治¹⁾, 帯田 俊司²⁾, 杉本 英樹¹⁾

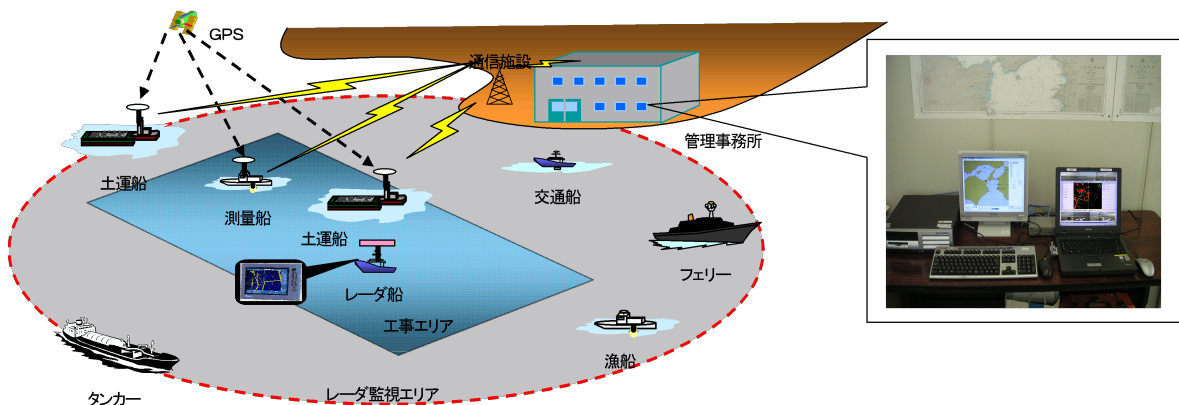
Development of Image Processing Software to use Marine Radar and the Image of the Digital Camera for Ship Control

Bunji Shigematsu¹⁾, Shunji Obita²⁾ and Hideki Sugimoto¹⁾

■ 要 旨 ■

現在、中規模以上の船舶が輻輳する海域では、工事に関係する作業船の位置を GPS と携帯電話などによる情報手段を用いて送信することで、現場から遠く離れた事務所で総合的に管理している。ところが海上空港島や港湾工事などの海域付近では、土運船や測量船などの工事用船舶に混じり、フェリーやタンカーや漁船などが輻輳する。しかしこの従来のシステムでは工事海域付近の漁船や工事に関係しないフェリーやタンカーなどは管理することができなかった。

今回開発したシステムは船舶レーダが捕らえた海域状況と船舶レーダと連動したデジタルカメラ(以下デジタルカメラと称す)の画像情報を無線で送信することで、陸上の事務所にて、工事関係の船舶だけでなく、フェリーやタンカーや漁船など工事海域付近に存在する全船舶の位置情報を把握することで安全運航管理と能率の向上が図れるシステムである。



運航管理システムの概念図

1) 技術研究所
2) 東北支店